

# 少年消防クラブニュース

発行/ 財団法人 日本防火協会  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-9-16  
 (日本消防会館内)  
 TEL 03(3591)7121  
 FAX 03(3591)7130  
 http://www.n-bouka.or.jp  
 (季刊・年4回発行)

印刷/株式会社 近代消防社

## 少年消防クラブ交流会「岩手県で初開催」

総務省消防庁では、今回が第1回目となる「少年消防クラブ交流会」を8月7日(火)～9日(木)の3日間、岩手県内において開催しました。少年消防クラブ活性化推進会議(委員長・秋本敏文(日本防火協会会長)・日本消防協会会長)は、(財)日本防火協会、(財)日本消防協会の他、岩手県、(財)岩手県消防協会、盛岡市、陸前高田市、遠野市、宮古市、矢巾町とともに開催に協力しました。

この交流会は、将来の地域防災の担い手(消防団員など)の育成を図るため、東日本震災被災地の消防団等から震災の教訓を学ぶとともに、消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて他地域の少年消防クラブ員と交流を深める目的で開催されたものです。

参加クラブは、全国88のモデル少年消防クラブの内、北海道、東北、関東地方の18クラブや地元の4クラブで、指導者を含んで総勢22クラブ135名が参加して行われました。本特集号と次号で、その概要を紹介します。

### 1日目の活動(8月7日(火))

#### ◆ 出発 盛岡駅

少し雲はあるものの晴天に恵まれ、クラブ員たちは3台のバスに乗り込んで元気に盛岡駅を出発。列を守って整然と乗り込む姿は、日頃の訓練のたまもの。緑豊かな景色に囲まれながら、バスは一路、陸前高田市へ。途中「道の駅」での休憩時には、記念撮影を行



3台のバスに順序通りに整列して乗車するクラブ員たち

#### ◆ 被災地視察 陸前高田市

東日本大震災で甚大な被害を受けた陸前高田市への被災地見学。現地では献花とともに1分間の黙祷。鎮魂の祈りをささげました。現地は建物すべてが潰れ、一面に草が伸びた更地の状態。変わり果てた姿で残る市民体育館壁面の高さ4mの位置に津波の跡が残っており、クラブ員たちは災害の大きさを実感していました。



献花台のある市民体育館前。高さ4m地点まで津波が押し寄せたという。

#### ◆ 夕食会/お話し会

#### ◆ 夕食会/お話し会



クラブごとにテーブルを囲んで和気あいあい。

クラブ員も熱心に聞き入っていました。

### 2日目の活動(8月8日(水))

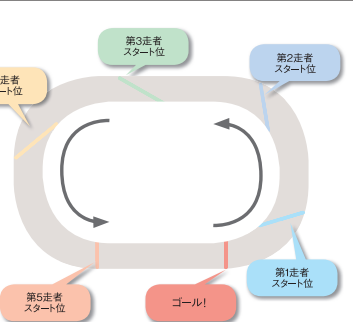
#### ◆ 合同訓練

矢巾小学校(岩手県紫波郡)地元から「矢巾町少年消防クラブ」も加わって、参加クラブ対抗の競技による合同訓練を実施。対抗競技の種類は、欧州の消防連合組織(CTIF-EU)を中心に約40カ国で結成)が、2年に1度開催している「ヨーロッパ青少年消防

防クラブ」も加わって、参加クラブ対抗の競技による合同訓練を実施。対抗競技の種類は、欧州の消防連合組織(CTIF-EU)を中心に約40カ国で結成)が、2年に1度開催している「ヨーロッパ青少年消防

#### ① クラブ対抗リレー

- ・1クラブ5名で行う。
- ・全長160メートルのトラックを用いる。
- ・消防ホースの筒先をバトン代わりに使用する。
- ・審判員の笛の合図でスタートし、筒先(バトン)をリレーしながら、アンカー(第5走者)がゴールラインを通過して筒先を置くまでのタイムを競う。



第1走者	第2走者	第3走者	第4走者	第5走者
ホース搬送	水消火器搬送	ハードル	分岐金具搬送	ホース延長
40mmホースを搬送し指定の枠(白線)の中まで移動し、ホース先端よりホーリングピンを倒す。	水消火器を搬送し指定の枠(白線)の中に入れて、水消火器を噴射し横線を2つ倒す。	コース上に設置された第1ハードルを飛び越え、第2ハードルをくぐり抜ける。	分岐金具を搬送し第5走者待機位置にある40mmホースと結合し、筒先(バトン)を渡し、分岐金具を保持する。	40mmホース2本と筒先を結合しホースを延長する。

スタート後、40mmホースを搬送して、白線まで移動。ホースを伸ばしてボウリングのピンを倒します。倒れた本数が点数にも結びつきます。

#### 第1走者

スタート後、40mmホースを搬送して、白線まで移動。ホースを伸ばしてボウリングのピンを倒します。倒れた本数が点数にも結びつきます。

#### 第2走者

水消火器を搬送し指定の枠(白線)の中に入れて、水消火器を噴射し横線を2つ倒す。

#### 第3走者

コース上に設置された第1ハードルを飛び越え、第2ハードルをくぐり抜ける。

#### 第4走者

分岐金具を搬送し第5走者待機位置にある40mmホースと結合し、筒先(バトン)を渡し、分岐金具を保持する。

#### 第5走者

40mmホース2本と筒先を結合しホースを延長する。

あと、コース上の設置された2つのハードルをクリアし走破します。水消火器をどれだけ迅速に扱えるかがポイントになります。

#### 第2走者

水消火器を搬送し指定の枠(白線)の中に入れて、水消火器を噴射し横線を2つ倒す。

#### 第3走者

コース上に設置された第1ハードルを飛び越え、第2ハードルをくぐり抜ける。

#### 第4走者

分岐金具を搬送し第5走者待機位置にある40mmホースと結合し、筒先(バトン)を渡し、分岐金具を保持する。

#### 第5走者

40mmホース2本と筒先を結合しホースを延長する。

スタートの合図とともに、1番員を含む各番員・指揮者がいっせいにスタート。迅速な動きで最初の持ち場につきまします。

#### 1番員

スタートの合図とともに、1番員を含む各番員・指揮者がいっせいにスタート。迅速な動きで最初の持ち場につきまします。

#### 2番員

スタートの合図とともに、2番員を含む各番員・指揮者がいっせいにスタート。迅速な動きで最初の持ち場につきまします。

#### 3番員

スタートの合図とともに、3番員を含む各番員・指揮者がいっせいにスタート。迅速な動きで最初の持ち場につきまします。

#### 4番員

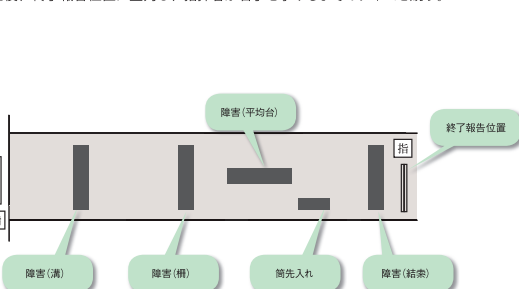
スタートの合図とともに、4番員を含む各番員・指揮者がいっせいにスタート。迅速な動きで最初の持ち場につきまします。

#### 5番員

スタートの合図とともに、5番員を含む各番員・指揮者がいっせいにスタート。迅速な動きで最初の持ち場につきまします。

#### ② クラブ対抗障害物競争

- ・1クラブ5名で行う。
- ・指揮者1名を含む5名でホースを延長しながらコース上の障害をクリアする。
- ・直線65メートルの会場を用いる。
- ・スタートの笛の合図とともに、協力して障害を越えながら二重巻きホースを延長し、結合を行った後、終了報告位置に整列し、指揮者が右手を挙げるまでのタイムを競う。



指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員
筒先	40mmホース	40mmホース	40mmホース	40mmホース
スタートの合図とともに、各番員を誘導し、スタートの合図で各番員を誘導し、平均台の先に2番員のホースの延長を待つ。ホースを結合し、筒先入れに取掛る。最後の結果を行った後、終了報告位置に整列する。	筒先を誘導し、スタートの合図で各番員を誘導し、平均台の先に2番員のホースの延長を待つ。ホースを結合し、筒先入れに取掛る。最後の結果を行った後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを搬送しながら各障害を越え、障害(橋)を越えた位置で3番員を待つ。ホースを結合し、平均台を渡り、最後の結果を行った後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを搬送しながら各障害を越え、障害(橋)を越えた位置で3番員を待つ。ホースを結合し、平均台を渡り、最後の結果を行った後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻きホースを搬送しながら各障害を越え、障害(橋)を越えた位置で3番員を待つ。ホースを結合し、平均台を渡り、最後の結果を行った後、終了報告位置に整列する。

(2面に続く)





### 優勝 三郷市少年消防クラブ



#### 指導者・萩浦正樹さんのコメント

みんなで力を合わせて頑張ることに主眼を置いて、訓練も積み重ねました。連係プレーを大事に、みんなができるようになることが大事だと思っていました。今回の合同訓練に向けては、2度ほど全体練習を行いました。クラブ員から「もっと練習がしたい」という声が出て、さらにもう一度練習を実施しました。そうした個々の意欲が優勝に結びついたのでと思います。勝ちたいという気持ちをみんな持っていましたね。

### 入賞クラブの紹介



見事に上位入賞を果たして記念品を受け取る

2つの競技で争われた合同訓練が終わり、表彰式に。日頃の訓練の成果を本番で出すことができたのかどうか。ベストを尽くして清々しい笑顔を浮かべるクラブ員

### 表彰式



(1面から続き)  
4番員  
最後の結索を行い、4番員のほか、終了報告位置に全員が整列。指揮者が右手を上げて完了。

### 合同訓練の総合成績

#### 優勝 三郷市少年消防クラブ (埼玉県)

- 2位 矢巾東小学校少年消防クラブ (岩手県)
- 3位 西町少年消防クラブ&富丘少年消防クラブ合同チーム (北海道)
- 4位 日野消防少年団 (東京都)
- 5位 東月寒少年消防クラブ (北海道)

合同訓練の会場・矢巾東小学校の小野寺校長に聞きました

子どもたちがみんな張り切って訓練に臨んでくれてうれしく思います。矢巾東小は岩手県消防学校が隣りにあり、生徒たちは、いつも消防学校の皆さんが訓練する姿を教室の窓から見て、防災への意識を高めています。こうした会場で、多くの消防団の子どもたちと交流がもてたことはとても良かったです。



矢巾東立矢巾東小学校 小野寺校長

や、悔しそうにメンバーと話し合う少年団などさまざまな表情が見られました。

#### 5位 東月寒少年消防クラブ



#### 4位 日野少年消防団



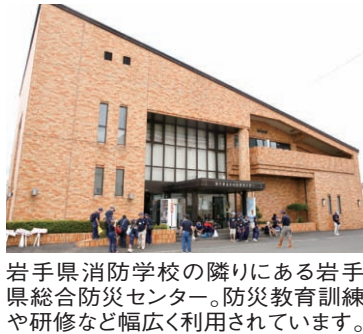
#### 3位 西町少年消防クラブ 富丘少年消防クラブ合同チーム



#### 2位 矢巾東小学校消防クラブ



### 入所式 区界高原少年自然の家



岩手県消防学校の隣りにある岩手県総合防災センター。防災教育訓練や研修など幅広く利用されています。

◆防災センター視察  
岩手県立総合防災センター  
合同訓練の後、矢巾東小学校の隣りにある「岩手県立総合防災センター」を見学に訪れました。震度7の地震の揺れを体験できるコーナーや、火災で見舞われる暗闇・煙体験、救命救急の実演コーナーなど、防災にまつわるあらゆる要素が学べる施設。震災を契機に防災への意識がいつそう高まるいま、日常での意識啓蒙も含めて、大きな役割を担う施設となっています。訪れたクラブ員たちも熱心に視察を行いました。



### 夕食 区界高原少年自然の家

さあ、がっつり食べるぞ！みんなそろって、「いただきます！」



隣の釜の様子も少し気になりながら、カレーの出来上がりに向けて前進！

◆炊き出し訓練  
区界高原少年自然の家  
「炊き出し訓練」で挑む夕食のメニューはカレーライス。各クラブそれぞれの釜で、役割を分担しながら飯ごう炊飯とカレーの調理に挑戦していきましました。なかなか火をおこせずに悪戦苦闘する姿や、カレールーの水分の分量を間違えてたスープカレーになってしまっ

◆ラジオ体操  
区界高原少年自然の家 第2営火場  
いよいよ最終3日目の朝。この日は朝から青空が広がり、無事に最終日を迎えました。



### 3日目の活動(8月9日)

◆キャンプファイヤーミーティング  
区界高原少年自然の家 第2営火場  
野外炊事での夕食後、第2営火場に移動してキャンプファイヤーを囲んでのミーティングを行いました。前日の夕食会に続く各消防団の自己紹介をはじめ、ビンゴゲームも実施。「リーチ！」の掛け声と「ビンゴ！」の歓声が交差するにぎやかなひとときを満喫。燃え盛る火が夜空を煌々と照らす幻想的な雰囲気なか、各消防団ともに楽しい時間を過ごしました。

◆野外探索(水晶拾い)  
区界高原少年自然の家 水晶の森  
区界高原少年自然の家「から少し山に入ると「水晶の森」と呼ばれるスポットがあります。野外探索では、この「水晶の森」で探索活動を実施。この地にはむかし金山があり、石の中に水晶を含むものが多く見つかるというのでした。指導員に教わりながら、クラブ員たちは目を凝らしながら



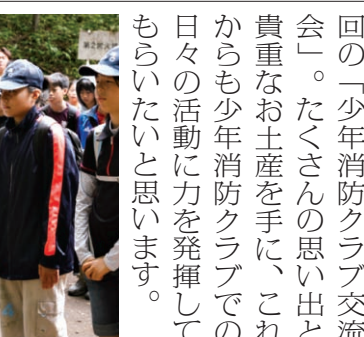
テーブルごとに仲良く、それぞれご飯や味噌汁を取り分けました。

◆朝食  
区界高原少年自然の家  
8時から食堂にて朝食。ご飯に納豆、焼き魚と玉子、そして味噌汁という和食の朝食。みんなでそろって食べる最後の食事。にぎやかに朝食のひとときを過ごしていました。最後に日野消防少年団の「ごちそうさまでした」の挨拶で、3日間の食事を締めくくりました。



みんなそろってのラジオ体操で1日のスタート

◆退所式・解散式  
区界高原少年自然の家 第2営火場  
10時30分、区界高原少年自然の家・第2営火場にクラブ員一同が集まり、退所式と解散式が行われました。仲間たちと同じ釜のご飯を食べ、同じ屋根の下で過ごした3日間。クラブ員にとって、それぞれどんな想いを胸に抱いた2泊3日となったのでしょうか。



◆退所式・解散式  
区界高原少年自然の家 第2営火場  
初めての試みとなった今回の「少年消防クラブ交流会」。たくさんの思い出と貴重なお土産を手にとり、これから少年消防クラブでの日々の活動に力を発揮してもらいたいと思います。



ときには驚くほどの大きな水晶が見つかることもあるそうです。



富丘少年消防クラブ

北海道札幌市



地域の防災活動や啓発活動、ボランティアに熱心に取り組んでいます。数年前から準指導員のいっそうのレベルアップを果たすために、研修も活発です。地元の児童を対象に心肺蘇生法を教える活動なども行っています。

西町少年消防クラブ

北海道札幌市



札幌市内の西区にある少年消防クラブで、みんなで楽しく活動しています。1泊2日の研修も実施するなど、小学1年生から消防活動に楽しくふれあうことを心掛けています。もちろん勉強のほうも熱心に行っていますよ！

東月寒少年消防クラブ

北海道札幌市



日頃から消防訓練やボランティア活動を盛んに行っています。東日本大震災の際には、「温かいカレーライスを被災地へ」というプロジェクトでボランティアを募り、食材を現地に運んで手作りのカレーライスをふるまいました。

日本橋消防少年団

東京都中央区



毎月2回の活動では、基本訓練や防災施設の見学、野外活動、地域行事への参加などを行っています。地元の「日本橋の橋洗い」にも積極的にお手伝いしています。団で作った地域の防災マップは「消防庁長官賞」を受賞しました！

能代市少年消防団

秋田県能代市



平成22年8月に発足しましたが、前年と平成19年に能代市が水害に見舞われたことで、若い人材の育成が急務と考へて結成されました。日頃から救急救命について特に力を入れて学んでいます。

小屋瀬少年消防クラブ

岩手県葛巻町



消防演習の参加や訓練を日頃から積極的に実施しています。取り組みの成果を、地元の小学校の運動会などで披露しています。今回の交流会では、全国の仲間たちとの交流が深まって意義あるものになりました。

上野消防少年団

東京都台東区



ダジャレ好きの団長とメンバーたちのユニークな消防団だと自負しています。通称、「パンダ少年団」！上野動物園のパンダに負けないような、皆さんから愛される消防団になっていけるよう団員みんなで頑張ります！

日本堤消防少年団

東京都台東区



80人を超える団員がおり、東京都内で2番目に大きな消防団です。イベントは盛りだくさんで、友達が友達を誘ったり、兄弟が団員に加わったりと輪が広がっていきました。みんなで和気あいあい、楽しく厳しく活動しています！

芝消防少年団

東京都港区



昭和54年に発足した34年目を迎える消防団です。「7つの誓い」を合言葉に日頃から地域での防災活動に取り組んでいます。また老人ホームへの訪問などの社会活動も積極的に行い、助け合いの精神を大事にしています。

成城消防少年団

東京都世田谷区



防災訓練やボランティア活動など、年間に15~16回の活動を熱心に行っています。団員はとてもし生懸命に活動していますので、ぜひ日頃の訓練の成果を発表できる機会、身に付けた力をどんどん披露していきたいと思ひます。

矢口消防少年団

東京都大田区



毎年小学校3年生から中学校3年生までの仲間たちが、毎年キャンプや火災予防パレードなどいろいろな活動をしています。防災について、楽しく学びながら社会性を身につけるための活動を行っています。

大森消防少年団

東京都大田区



消防の仕事や火災予防について学んだり、各種イベントなどで活動中。キャンプやハイキングなどの楽しい野外活動も行っています。社会の基本的なルールをきちんと守り、思いやりの心をもった大人に育つよう取り組んでいます。

参加クラブの紹介

(※1日目と2日目のミーティングでの挨拶より)

(4面に続く)



昭島消防少年団

東京都昭島市



東京都のほぼ中央にある昭島市の消防少年団です。住宅地で人口も増加中の昭島市で、平成10年に結成しました。小型ポンプの取り扱いやAEDの使い方など、小学1年生から中学3年生までの団員が日頃から一生懸命学んでいます。

江戸川消防少年団

東京都江戸川区



水難救助訓練や放水訓練など、日頃から熱心に鍛錬を積んでいます。地元の祭りでは「防災みこし」をかつぐなど、地域の行事にも積極的に参加しています。これからもチームワーク良く頑張ります。

豊島消防少年団

東京都豊島区



東京で初めて「セーフコミュニティ」の国際認証都市となった豊島区。安全・安心の街づくりを担う存在として、規律や訓練を重視しながら、これからも積極的な活動をしていきたいと思っています。

参加クラブの紹介

(予告)

次号で各クラブ員に交流会に参加した感想を聞きましたのでご紹介します。

三郷市少年消防クラブ

埼玉県三郷市



平成23年4月に設立したまだまだ駆け出しの少年消防クラブです。今回の交流会では合同訓練で優勝することもでき、思い出に残る3日間になりました。これを励みにこれからも活動に力を入れていきます。

秋川消防少年団

東京都あきる野市



東京の最西端にある消防少年団です。冬には夜警を行うなど、地域の防災活動に熱心に取り組んでいます。みんな元気な団員たちです。秋川渓谷はとても良いところなので、ぜひ一度いらしてください！

日野消防少年団

東京都日野市



防火防災の知識・技術を学び、規律ある団体行動の中で、助け合いと感謝の気持ちを育むことを目指して活動しています。夜間パトロールや特別老人ホームの訪問、地元の川をきれいにする活動などを行っています。

宝くじは、  
地方自治体の公共事業等に  
幅広く使われています。

宝くじの収益金は、  
病院や検診車、図書館や動物園、  
災害に強い街づくり、  
緑あふれる公園、美術館など、  
皆様の暮らしに役立てられています。

ワクワク、  
ドキドキ。

